

Q7 どのタイミングで避難すればよいのでしょうか。

A7 マップ表面の「8 マップを見て調べよう!」で、どのタイミングでどのような避難行動をとればよいかを確認しましょう。避難行動を選ぶ際の注意事項はQ52を確認しましょう。

避難行動の確認手順

まずは、ハザードマップ裏面の基本想定を確認し、自宅付近の浸水深や自宅が土砂災害のおそれがある区域内にあるかを確認し、「はい」か「いいえ」を選びましょう。

で「いいえ」を選んだ方

で「いいえ」を選んだ方は、屋内安全確保が可能です。

8 マップを見て調べよう! 裏面のマップを見て自宅の階数や浸水深などに をしましょう。

(1) 自宅の災害リスクについて

① 裏面の **基本想定** を見て、自宅が浸水深 (下記②) の色や土砂災害 (下記④) の区域内にありますか?

はい いいえ

↓ はい ↓ いいえ

屋内安全確保 必要に応じて、避難者の受け入れなどの手助けをしましょう。

で「はい」を選んだ方

で「はい」を選んだ方は、自宅の階数と浸水深を確認しましょう。

② 自宅の階数と浸水深は?

階数	浸水深の目安	色
3階以上	5.0m以上	むらさき
2階	3.0~5.0m未満	ピンク
1階	0.5~3.0m未満	オレンジ
0.5m未満	0.5m未満	きいろ

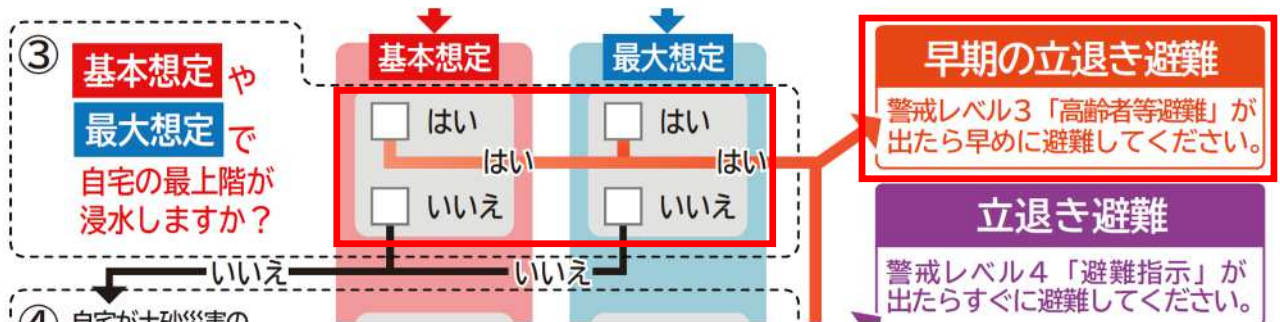
基本想定	最大想定
概ね100年に一度の洪水	概ね1,000年に1度の洪水
<input type="checkbox"/> 5.0m以上	<input type="checkbox"/> 5.0m以上
<input type="checkbox"/> 3.0~5.0m未満	<input checked="" type="checkbox"/> 3.0~5.0m未満
<input checked="" type="checkbox"/> 0.5~3.0m未満	<input type="checkbox"/> 0.5~3.0m未満
<input type="checkbox"/> 0.5m未満 または、浸水しない	<input type="checkbox"/> 0.5m未満 または、浸水しない

上記の場合は、基本想定では2階への垂直避難が可能です。最大想定では、最上階となる2階まで浸水することとなるため、自宅外への立退き避難が必要となります。

で自宅の階数と浸水深を回答した方

へ

で自宅の階数と浸水深を回答した方は、において、基本想定と最大想定それぞれで自宅の最上階が浸水するかどうかを確認しましょう。基本想定と最大想定いずれかで「はい」を選んだ方は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された時点で早めに避難をしましょう。



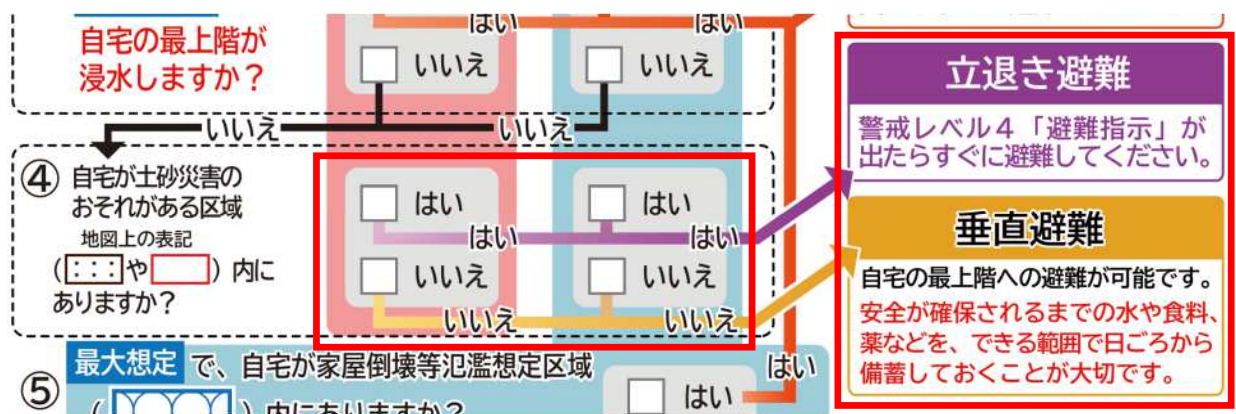
で自宅の最上階が浸水しないと回答した方

へ

また、において、基本想定と最大想定両方で「いいえ」を選んだ方は、で自宅が土砂災害のおそれがある区域内にあるかどうかを確認しましょう。



土砂災害のおそれがある区域内にお住まいの方(で「はい」と回答した方)は、警戒レベル4「避難指示」が発令された時点で立退き避難をしましょう。

また、土砂災害のおそれがある区域の外にお住まいの方(で「いいえ」と回答した方)は、浸水しない上の階への垂直避難が可能です。



土砂災害のおそれがある区域内にお住まいの方(で「はい」と回答した方)は、
 下表に示す警戒区域の種類(土砂災害警戒区域(イエローゾーン)、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン))や、「がけ崩れ」や「土石流」、「地すべり」などの土砂災害の種類(下図)もあわせて確認しておきましょう。

表 警戒区域の種類

種類	凡例	解説
土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)		がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)		がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害のおそれがある区域 地図上の  や  では土砂災害のおそれがあります。
 区域に関する詳細は「土砂災害警戒区域等管理システム」を確認してください。

がけ崩れ
 雨や地震などにより、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



土石流
 石や土砂が集中豪雨などによって一気に押し流される現象。



地すべり
 斜面の一部あるいは全部が斜面の下に移動する現象。



こんな時は「がけ崩れ」に要注意!

- ・がけにひび割れができる
- ・がけから水が湧き出る
- ・小石がパラパラと落ちてくる

こんな時は「土石流」に要注意!

- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ・山鳴りがする
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる

こんな時は「地すべり」に要注意!

- ・井戸や沢の水が濁る
- ・地面がひび割れ・陥没
- ・がけや斜面から水が噴き出す



注意

警戒区域外でも土砂災害が発生するおそれがあります。できるだけ斜面から離れてください。雨が弱まった後も土砂災害にご注意ください。

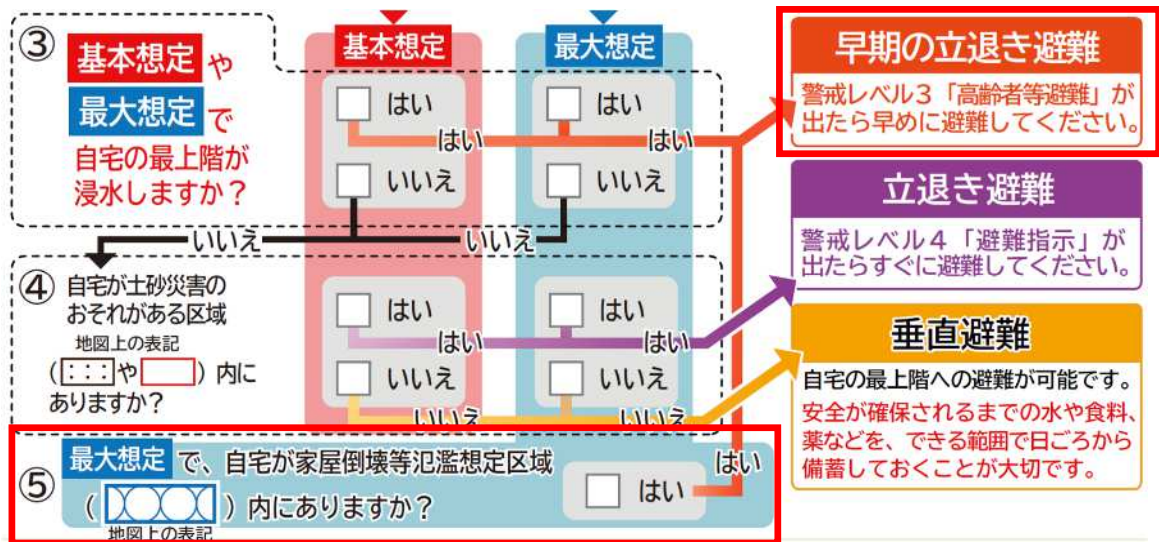
図 土砂災害の種類

家屋倒壊等氾濫想定区域内にお住まいかどうかの確認

へ

最大想定において、強い水流により家屋が倒壊・流失するおそれがある区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）内にお住まいかどうかを確認し、「はい」か「いいえ」を選んでください。

家屋倒壊等氾濫想定区域内に自宅がある方（ で「はい」と回答した方）は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された時点で早めに避難をしましょう。



家族の状況について

高齢者や障がい者など、避難の際に配慮や支援が必要な人は、比較的避難に時間がかかるため、逃げ遅れないよう早めに避難を開始しましょう。

(2)では、家族内に避難に支援が必要な人がいるかどうかについて確認しています。家族の中に避難に支援が必要な人がいる方((2)で「あり」と回答した方)は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された時点で早期の立退き避難をしてください。

(2) 家族の状況について

避難に支援が必要な人の有無（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦）

なし あり

「あり」と回答した方は…

警戒レベル3で避難
避難に支援が必要な人とその支援者は、警戒レベル3「高齢者等避難」で避難を開始してください。

(3) 避難先について

避難先について

上記のとおり、早期立退き避難、立退き避難、垂直避難や屋内安全確保など、自らの避難行動を決定したら、(3)に具体的な避難場所や移動手段、移動に係る時間を記入しましょう。

徒歩による避難が困難な場合は、車での避難も検討しましょう。浸水が始まると車での避難が困難となることから、浸水前の早めの避難が重要となります。

(3) 避難先について

で避難を開始してください。

裏面の **6つの避難行動** を参考にして、避難先を考えましょう。

災害時、自宅の地区内で 最初に開く指定避難所		<input type="text"/>	(移動手段: <input type="text"/> 移動時間: 約 <input type="text"/> 分)
親戚・知人の家		<input type="text"/>	(移動手段: <input type="text"/> 移動時間: 約 <input type="text"/> 分)
その他 (近くの安全な場所)		<input type="text"/>	(移動手段: <input type="text"/> 移動時間: 約 <input type="text"/> 分)